

# 令和6年度彩の国ボランティア体験プログラムレポート

1	プログラム名	第29回（令和6年度）ボランティア体験プログラム
2	実施社会福祉協議会	川越市社会福祉協議会
3	協力団体	市内福祉施設
4	活動年月日	令和6年7月23日～8月29日
5	活動場所	市内社会福祉施設等・自宅、子ども食堂、日本語教室、森のさんぽ道等
6	内容	<p>【制作メニュー】雑巾・台拭き制作、フェルトのおもちゃ制作、塗り絵の原画制作、チラシで作るゴミパック、足拭きマット制作、ティッシュボックスカバー、スポンジボール、巾着・ポーチ、折り紙のメダルやブローチ、赤い羽根共同募金用ポスター</p> <p>【制作メニュー】衣類の寄付・食料品の寄付</p> <p>【施設・地域での体験メニュー】高齢者施設・障がい者施設・保育園での活動、子ども食堂、日本語教室、多文化交流、環境ボランティア</p>

## 7 活動の様子

### 【①施設・地域での交流体験メニュー】

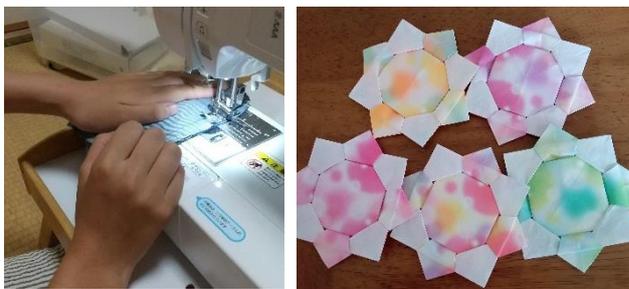


3日間の活動を終えて、介護のイメージが変わりました。最初は緊張していたし不安もあったので利用者の方々にも話しかけづらかった。2日目・3日目はやる事が明確になったのでテキパキ動くことができ、頼まれたことや会話も積極的にできました。この経験が、次のボランティア活動や身近に困っている人がいたら役に立つんじゃないかなと思った。（高齢者施設体験）

ボランティアに参加する前は、そこまで大変だと思っていませんでしたが、実際にボランティア活動してみると、想像以上に大変でした。森の奥の方に不法投棄されているゴミは道路からは見えないけど、草や木の中に大量にあって、かき分けながら拾うのがとっても大変でやってる人は凄いなと思いました。これからも毎回自分で出したゴミは絶対に持ち帰るようにします。不法投棄のゴミの事をみんなに話して、ゴミを捨てる人が減るようしたいです。（地域交流体験）



### 【②制作活動・寄付活動メニュー】



やる前は折るだけだと思っていたけれど、作るうちに、誰かの手に渡ったときに、きれいと思ってもらえるようにしたいと相手のことを考えることができました。誰かの役に立てることが嬉しいと思いました。これからも誰かのために、思いやりを持ってボランティアに参加したいです。（折り紙制作）